

2025(令和7)年度

徳島大学大学院

創成科学研究科博士前期課程

【地域創成専攻・臨床心理学専攻】

学生募集要項

徳島大学

2025(令和7)年度 徳島大学大学院創成科学研究科 博士前期課程
【地域創成専攻・臨床心理学専攻】
学 生 募 集 要 項

I. 創成科学研究科の基本理念

創成科学研究科は、人文・社会・人間科学、理学、工学、生物資源学を融合した新たな教育体制・教育課程の構築により、中長期的な産業界・社会のニーズを踏まえつつ、グローバルかつ複合的な視点から科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値（イノベーション）を創成し、社会の発展に貢献できる高度専門職業人を養成することを基本理念としています。

II. アドミッション・ポリシー

◆全学アドミッション・ポリシー

徳島大学は、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、卓越した学術および文化を継承するとともに学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求めています。

◇求める人物像

- ・ 専門的知識と論理的思考を備え、明確な問題意識をもって研究を進める能力に加え、専門的な職業に従事できる高度な能力を修得しようとする人
- ・ 多様な情報を的確に把握し、自らの自由な発想でその真偽と活用を判断し、高い倫理観・責任感を身につけ、自立して行動しようとする人
- ・ 世界水準を目指す研究成果の発信により、地域を発展させる産業創出又は医療の深化・発展のために貢献しようとする人

■創成科学研究科 アドミッション・ポリシー

創成科学研究科博士前期課程では、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、中長期的な産業界・社会のニーズを踏まえ、グローバルかつ複合的な視点から科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求めています。

1. 専門的知識と論理的思考を備え、明確な問題意識をもって研究を進める能力に加え、専門的な職業に従事できる高度な能力を修得しようとする人
2. 多様な情報を的確に把握し、自らの自由な発想でその真偽と活用を判断し、高い倫理観・責任感を身につけ、自立して行動しようとする人
3. 世界水準を目指す研究成果の発信により、地域を発展させる新たな価値の創成のために貢献しようとする人

■創成科学研究科博士前期課程地域創成専攻 アドミッション・ポリシー

地域創成専攻では、人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識と関連領域における幅広い知識を踏まえ、総合的かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と、持続可能な地域社会の創成に主体的に貢献できる実践人材を養成するために、次のような人物を求めています。

1. 知識・技能、関心・意欲

人文・社会・人間科学分野とその関連領域の学問に関心を持ち、入学後は専門分野を中心に総合的・グローバルな視点を踏まえ研究を進め、地域課題の解決と、持続可能な地域社会の創成に主体的に貢献する意欲を持つ人

2. 思考力・判断力・表現力等の能力

多様な情報を的確に把握し、論理的思考力と適切な判断力に基づき課題を解決する能力、及び自らの考えを論理的にわかりやすく表現する能力を有する人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

多様な領域の人々と協働しながら、研究課題の探究と地域課題の解決に主体的に取り組む意欲を持つ人

●入学者選抜の基本方針

- ・筆記試験では、主として各分野の専門領域に係る語学力を含めた知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。
- ・面接は口頭発表・口述試験を含み、知識・技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

■創成科学研究科博士前期課程臨床心理学専攻 アドミッション・ポリシー

臨床心理学専攻では、臨床心理学の諸分野における高度な専門的知識と汎用的知識、関連領域に関する幅広い知識と論理的思考力を備え、心の健康の回復と保持増進の観点から、地域社会の構築に貢献できる人材を養成することを目指し、次のような人物を求めています。

1. 知識・技能、関心・意欲

臨床心理学とその関連領域における諸課題に強い関心を持ち、将来、心の健康の回復と保持増進の観点から、地域社会の構築に係る専門的な職業に従事することを志す人

2. 思考力・判断力・表現力等の能力

多様な情報を的確に把握し、適切な手法を用いて課題を解決する能力、及び自らの考えを論理的にわかりやすく表現する能力を有する人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

多様な領域の人々と協働しながら、研究課題の探究と地域社会の心の健康の回復と保持増進に主体的に取り組む意欲を持つ人

●入学者選抜の基本方針

- ・筆記試験では、主として臨床心理学の領域（基礎心理学を含む）に係る語学力を含めた知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。

- ・面接は口述試験の形で行い，知識・技能，関心・意欲，思考力・判断力・表現力，主体性，協働性を総合して評価します。

●臨床心理士資格試験受験資格及び公認心理師試験受験資格について

臨床心理士については，本専攻入学後，受験に必要な科目を全て修得して修了後，臨床心理士資格試験受験資格を得ることができます。また，公認心理師については，大学（学部）で公認心理師に関する指定科目を修得して卒業し，かつ本専攻入学後，本専攻が指定する公認心理師対応科目を全て修得して修了することで，受験資格を得ることができます。

なお，本専攻では大学（学部）における指定科目修得状況の確認は行いませんので，受験資格を希望する場合には，必ずご自身でご確認をお願いします。

Ⅲ. 募集人員

専攻名	募集人員	
	I 期	II 期
地域創成専攻	8人	4人
臨床心理学専攻	12人	若干名

*上記には，外国人留学生特別入試及び社会人特別入試の定員も含まれます。

Ⅳ. 出願資格

入学を志願することができる者は，当該専攻での研究に従事するに足る日本語能力を備え，次のいずれかに該当する者とします。

【一般入試】

- (1) 学校教育法第 83 条第 1 項に定める大学を卒業した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者又は令和 7 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修すること

により当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者

- (7) 学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 6 号の規定に基づき、文部科学大臣が指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号参照）
- (8) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は修了見込みの者
- (9) 大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、志願する専攻において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者
- (10) 志願する専攻において、個別の入学資格審査により、第 1 号に規定する者と同等以上の学力があると認められた者で、令和 7 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

【外国人留学生特別入試】

上記(1)～(10)のいずれかに該当し、日本国籍を有しない者

【社会人特別入試】

地域創成専攻においては、上記(1)～(7)のいずれかに該当し、令和 7 年 3 月 31 日までに 2 年以上の業務経験を有する者

臨床心理学専攻においては、上記(1)～(7)のいずれかに該当し、令和 7 年 3 月 31 日までに 2 年以上の業務経験を有する者。但し、官公庁、企業、教育機関等に原則として各種実務者又は技術者として在職し、指導を希望する専門分野において実務の経験を有する者で、入学後も継続的な相談業務活動を行う者

※出願資格(9)、(10)の認定について

該当する志願者は、16～18ページの要領により入学試験出願資格審査を申請してください。出願書類は、志願する専攻において入学試験出願資格審査が終了するまで、その受理が保留されます。

V. 出願手続

- (1) 提出書類等

【共通】：一般入試、外国人留学生特別入試、社会人特別入試について共通

<p>【共通】 入学願書</p>	<p>所定の用紙に必要事項を記入してください。 【e-mail アドレスの記入について】 入試の実施に関し大学から連絡をする場合がありますので、e-mail アドレスを必ず記入してください。また、総合科学部事務課学務係 (skgakumk@tokushima-u.ac.jp) から送信しますので、受信できるよう設定をお願いします。</p>
----------------------	--

【共通】 受験票・写真票	所定の用紙に必要事項を記入し、それぞれ同一の写真（最近撮影した正面、脱帽、上半身、縦5cm×横4cmのもの）を貼ってください。
【共通】 志望・研究計画等調書	所定の用紙に必要事項を記入してください。
【共通】 口頭発表用資料	地域創成専攻に出願する者は、A4版2枚以内で、自分の研究テーマに関わる内容の口頭発表用資料を8部（様式自由、カラー刷り可）作成し、提出してください。
【共通】 成績証明書	出身大学（学部）長が作成した成績証明書
【共通】 卒業（見込み）証明書	出身大学（学部）長が作成した卒業（見込み）証明書
【共通】 学位授与証明書等	出願資格(2)に該当する者は、独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行した学士の学位授与証明書を添付してください。 出願資格(3)～(5)に該当する者は、学位記の写し等を提出してください。 ※出願資格(3)～(5)に該当する者で、学士の学位がない場合は入学試験出願資格審査が必要です。
【留学生】 履歴書	出願資格(3)～(5)に該当する者は、所定の用紙に必要事項を記入してください。
【留学生】 外国人登録原票記載事項証明書又は旅券の写し	外国人留学生として志願する者は提出してください。
【共通】 検定料払込証明書	検定料 30,000 円 検定料を郵便振込した後、受領した「検定料払込証明書（出願用）」を「検定料払込証明書」（本学所定の様式）に貼って提出してください。 なお、海外在住の志願者については、クレジットカード（VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS 等）又は中国銀聯カードによる払い込みが可能です。海外からの出願方法等については「14 ページ XIV 留学生の方へ」を参照ください。
【共通】 あて名票 3 枚	合格通知送付用封筒に貼るので、確実に受け取れる住所・氏名・郵便番号・電話番号を記入してください。
【共通】 受験票送付用封筒	所定の封筒にⅠ期入試志願者は354円分、Ⅱ期入試志願者は370円分の切手を貼り、自己の住所・氏名・郵便番号を明記したもの。

（注1）中国の高等教育機関を卒業した者は、学歴証明をオンラインで確認しますので、中国高等教育学生情報網（<http://www.chsi.com.cn>）で照会番号を取得し、履歴書に記載してください。

（注2）出願書類のうち、日本語以外で書かれた証明書には、日本語訳を添付してください。

（注3）志願者は、必ず出願前に、志望する指導教員と研究内容等について相談をしておいてください。

（注4）指導教員を選択するにあたり、各教員の研究指導内容については、10 ページ以後を参照してください。令和8年3月末日までの退職予定教員は指導教員に選べません。

（注5）国費留学生は検定料不要です。

（注6）「志望・研究計画等調書」は本学部ホームページから Word データをダウンロードして使用することもできます。詳しくは本学部ホームページで確認してください。

（https://www.ias.tokushima-u.ac.jp/admission/graduate_school/）

（注7）「志望・研究計画等調書」以外は所定の用紙に手書きで記入してください。

(2) 出願期間

I期 令和6年7月23日(火)～令和6年7月25日(木) 17時(必着)

II期 令和6年11月29日(金)～令和6年12月3日(火) 17時(必着)

(3) 出願書類等の提出先

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地 徳島大学総合科学部事務課学務係

(4) 出願方法

- ① 入学志願者は、出願書類等を取りそろえ、出願期間内に持参又は郵送により出願してください。
- ② 郵送の場合は、「書留」とし、封筒には「大学院入学願書在中」と朱書きしてください。願書受付期間を過ぎた場合は、受理しませんので、郵送期間を十分考慮のうえ、送付してください。
- ③ 持参の場合の受付時間は、9時～12時、13時～17時とします。
- ④ 出願期間を過ぎたもの及び出願書類に不備のあるものは受理しません。

(5) 受験票の送付

出願書類を受理したときは、地域創成専攻・臨床心理学専攻受験票をI期にあつては、令和6年8月19日(月)までに、II期にあつては、令和6年12月12日(木)までに届くように送付します。期限までにこれらの書類が到着しない場合は、必ず電話照会してください。

(電話番号 088 - 656 - 7108)

VI. 入学者の選抜

(1) 試験日程

I期 入学者の選抜は、専攻ごとに筆記試験、面接及び書類審査の結果等によって総合的に判断して行います。

【地域創成専攻】 一般入試、外国人留学生特別入試、社会人特別入試

試験日	試験時間	試験科目等
令和6年8月26日(月)	9:00～10:00	小論文
	10:30～12:00	専門科目
	13:30～	面接

【臨床心理学専攻】 一般入試、外国人留学生特別入試、社会人特別入試

試験日	試験時間	試験科目等
令和6年8月26日(月)	9:00～11:00	専門科目
	13:30～	面接

Ⅱ期 入学者の選抜は、地域創成専攻は面接及び書類審査、臨床心理学専攻は筆記試験・面接のほか書類審査の結果等によって総合的に判断して行います。

【地域創成専攻】 一般入試，外国人留学生特別入試，社会人特別入試

試験日	試験時間	試験科目等
令和6年12月21日（土）	9：00～	面接

【臨床心理学専攻】 一般入試，外国人留学生特別入試，社会人特別入試

試験日	試験時間	試験科目等
令和6年12月21日（土）	9：00～11：00	専門科目
	13：30～	面接

(2) 試験科目等

I期

地域創成専攻を志願する者の試験科目等

一般入試，外国人留学生特別入試，社会人特別入試

筆記試験

小論文

専門科目

・受験する専門科目を8～9ページの表（地域創成専攻の受験科目と出題内容（出題範囲）（I期））の「受験科目」欄から出願時に一つ選択してください。

※第1志望指導教員の専門分野の受験科目を選択してください。

・外国語（英語等）による出題を含む受験科目においては、辞書の持ち込みを可とします（電子辞書及び専門辞書は不可）。

※該当する科目については、8～9ページの表を参照。

面接

口頭発表（5分間）と口述試験により行います。

口頭発表では、芸術系に限りタブレット端末の持ち込みを許可します。

臨床心理学専攻を志願する者の試験科目等

一般入試，外国人留学生特別入試，社会人特別入試

筆記試験

専門科目

臨床心理学

・英語による心理学に関する問題（語学辞書持ち込み可〔電子辞書及び専門辞書は不可〕）。

・臨床心理学（基礎心理学を含む）

面接

口述試験により行います。

Ⅱ期

地域創成専攻を志願する者の試験科目等

一般入試，外国人留学生特別入試，社会人特別入試

面接 口頭発表（5分間）と口述試験により行います。

口頭発表では，芸術系に限りタブレット端末の持ち込みを許可します。

臨床心理学専攻を志願する者の試験科目等

一般入試，外国人留学生特別入試，社会人特別入試

筆記試験

専門科目 臨床心理学

・英語による心理学に関する問題（語学辞書持ち込み可〔電子辞書及び専門辞書は不可〕）。

・臨床心理学（基礎心理学を含む）

面接 口述試験により行います。

(3) 書類審査

出身大学（学部）長が作成した成績証明書等を審査し，選抜判定の資料とします。

(4) 受験科目（専門科目）の選択

地域創成専攻（Ⅰ期）を志願する人は，受験科目（専門科目）を下記の表の「受験科目」欄から出願時に一つ選択し，入学願書，受験票・写真票及び志望・研究計画等調書の受験科目欄に記入してください。

※第1志望指導教員の専門分野の受験科目を選択してください。

地域創成専攻の受験科目と出題内容（出題範囲）（Ⅰ期）

受験科目	出題内容（出題範囲）
地域計画学	地域計画（都市計画／農村計画）に関する基礎知識と論理的思考力を問う。
地域社会論	地域社会学，まちづくりについての主要な概念と方法に関する基礎知識と論理的思考力を問う。
多文化社会論	多文化社会に関する基礎知識と論理的思考力を問う。
公共政策論	公共政策論に関する基礎知識と論理的思考力を問う。
法律学	法律学（行政法）に関する基礎知識と論理的思考力を問う。
経済学	経済学（マクロ経済学）に関する基礎知識と論理的思考力を問う。
マーケティング戦略論	マーケティング戦略に関する基礎知識と論理的思考力を問う。
地域構造論	人文地理学・地理情報システムに関する基礎知識と論理的思考力を問う。
地域経済学	地域産業と地域経済に関する基礎知識と論理的思考力を問う。

データサイエンス	データサイエンスに関する基礎知識と論理的思考力を問う。
メディアアート	現代美術、メディアアートに関する基礎知識と技術および表現力を問う。
映像・デザイン学	映像・デザイン学に関する基礎知識と技術および表現力を問う。
空間デザイン	空間デザイン（建築計画学）の主要な概念と方法に関する基礎知識と論理的思考力を問う。
空間情報科学	空間情報科学・地理情報システムに関する基礎知識と論理的思考力を問う。
健康行動論	健康行動論（スポーツ社会学、応用生理学、スポーツ医学、スポーツ心理学）に関する基礎知識と論理的思考力を問う。英語による出題を含む。
運動栄養学	運動栄養学に関する基礎的・応用的知識を問う。
福祉社会学	福祉社会学・医療社会学に関する基礎知識と論理的思考力を問う。
日本語学	日本語学に関する基礎知識と論理的思考力を問う。
日本語文化論	日本語・日本文学に関する基礎知識と論理的思考力を問う。
日本文学・日本文化論	日本文化・日本文学に関する基礎知識と論理的思考力を問う。
考古学	考古学に関する基礎知識と論理的思考力を問う。
日本史	日本史に関する基礎知識と論理的思考力を問う。
西洋史	近現代イギリス史に関する基礎知識と論理的思考力を問う。英語による出題を含む。
中国史	中国史に関する基礎知識と論理的思考力を問う。
文化人類学	文化人類学に関する基礎知識と論理的思考力を問う。
国際関係論	国際関係論、とくに安全保障の分野に関する基礎知識と論理的思考力を問う。
フランス近代哲学	フランス近代哲学に関する基礎知識と論理的思考力を問う。フランス語による出題を含む。
東アジア哲学思想	東アジア地域の思想・文化に関する基礎知識と論理的思考力、および漢文史料の読解力を問う。
応用倫理学	応用倫理学に関する基礎知識と論理的思考力を問う。英語による出題を含む。
英語教育学・社会言語学	英語学全般に関する基礎知識と論理的思考力、および英語を読んで書く力を問う。
英語学・言語情報	英語学に関する基礎知識と論理的思考力、プログラミング（Python）の基礎技能、および英語を読んで書く力を問う。
英語学・認知言語学	英語学全般に関する基礎知識と論理的思考力、および英語を読んで書く力を問う。
英語圏文化論	英語圏文化、特に英米文学に関する基礎知識と論理的思考力を問う。英語による出題を含む。
ヨーロッパ文化論	ヨーロッパ文化、とくに比較文学・比較文化、もしくは美術に関する基礎知識と論理的思考力を問う。英語による出題を含む。

(5) 指導教員の選択

入学後志望する指導教員を記入してください。ただし、当該の指導教員に多数の志望者が集中した場合、必ずしも当該の指導教員の指導を受けられないことがあります。指導教員を選択するにあたり、各教員の研究指導内容については、次表を参照してください。詳細は、大学ホームページに掲載されています。

なお、令和8年3月末日までの退職予定教員は指導教員に選べません。（*印が付いた教員）

《地域創成専攻》

*印は令和8年3月末日までの退職予定者を示します。
*印が付いた教員は指導教員に選べません。

区分	担当教員	指 導 内 容
教 授	饗 場 和 彦*	安全保障・民主主義・ジャーナリズムの研究
	荒 武 達 朗	中国近現代史に関する研究
	石 田 基 広	データサイエンスに関する研究
	衣 川 仁	日本中世史に関する研究
	佐久間 亮*	近・現代イギリス史と植民地支配の研究
	佐 藤 充 宏	地域のスポーツ振興方策に関する研究
	佐 原 理	映像デザインに関する研究
	高 橋 晋 一	日本および東アジアの民俗文化に関する研究
	田 口 太 郎	まちづくりプロセスに関する研究
	段 野 聡 子	地域産業の比較構造分析・経済波及効果に関する研究
	堤 和 博	日本古典文学に関する研究
	豊 田 哲 也	都市問題や地域格差に関する経済地理学的研究
	中 村 豊	日本および東アジア考古学研究
	三 浦 哉	身体活動による生活習慣病・介護予防に関する研究
	村 上 敬 一	現代日本語に関する社会言語学的研究
	矢 部 拓 也	地域社会やまちづくりに関する研究
	山 口 裕 之	フランス近現代哲学に関する研究
	山 田 仁 子*	認知言語学および語用論等の視点からの言語研究
	依 岡 隆 児	グローバルな視点からの比較文学・比較文化研究
准教授	新 田 元 規	中国および日本の思想文化史に関する研究
	上 原 克 之	行政法の基礎理論の研究
	カイザー・メイガン・レネー	英語教育学・社会言語学に関する研究
	掛 井 秀 一	情報通信技術の空間デザインへの適用に関する研究
	河 田 和 子	日本近現代文学に関する思想的研究
	河原崎 貴 光	メディアアートと現代美術の制作
	熊 坂 元 大	応用倫理学に関する研究
	小田切 康 彦	地方自治体の政策に関する研究
	シートゲス オラフ	日本現代文学・文化に関する研究

准教授	田 中 佳	フランス文化史・美術史に関する研究
	趙 彤	マクロ経済学及び人口経済学に関する研究
	内 藤 直 樹	地域文化の動態と開発・援助に関する研究
	中 島 浩 二	コーパスを用いた言語分析, Python による語学教材ソフトの開発
	中 塚 健太郎	実力発揮や健康増進に関するスポーツ・健康心理学の研究
	夏 目 宗 幸	空間情報科学・地理情報システムに関する研究
	武 学 穎	マーケティング戦略に関する研究
	マッケンディ タニヤ	ジェンダー・リーダーシップ・グローバル社会における言語の研究
	山 内 暁 彦	英語圏文学における諷刺とユーモアに関する研究
	山 口 博 史	多民族地域・境界地域・地方都市に関する社会学的研究
	吉 田 文 美	20 世紀以降の英米文学および英米文化に関する研究
	羅 成 圭	健康科学・スポーツ科学における運動栄養学の研究
	渡 邊 克 典	医療・福祉に関する社会学的研究

《臨床心理学専攻》

区分	担当教員	指 導 内 容
教 授	内 海 千 種	犯罪被害や被災等のトラウマ体験と精神的健康に関する研究
	佐 藤 健 二	トラウマ, 不安, 抗うつ等の認知行動論(マインドフルネス等を含む)的研究
	佐 藤 裕	知覚機構や認知機能に関する研究
准教授	榎 本 拓 哉	神経発達症群の児童・家族を支える支援システムの開発に関する研究
	甲 田 宗 良	認知行動療法やマインドフルネスのメカニズムおよび社会実装に関する研究
	津 村 秀 樹	ストレス, 抑うつ, 不安, 依存等の認知生理心理学的研究
	福 森 崇 貴	がんや慢性疼痛等の身体疾患患者及び医療従事者の精神的健康に関する研究
	山 本 哲 也	心を理解・調整するための臨床心理学および心理情報学的研究
	横 谷 謙 次	家族・コミュニティ・犯罪に対する心理学的研究

Ⅶ. 合格者の発表

I 期 令和 6 年 9 月 18 日(水) 10 時

Ⅱ期 令和 7 年 1 月 22 日(水) 10 時

徳島大学総合科学部玄関前に掲示するとともに、合格者には、本人あて文書により通知します。

なお、電話等による合否についての照会には応じません。

(注) 合格者情報は、本学部ホームページ

<https://www.ias.tokushima-u.ac.jp/>

に掲載します。ただし、ホームページの内容と本学部に掲示する合格者が異なる場合は、掲示による合格者発表を正しいものとします。

Ⅷ. 入学手続き

入学手続きについては合格者に別途通知します。

なお、入学後に職業を有する方は、入学手続き時に勤務先の所属長の承諾書を提出してください。(様式任意)

授業料等学生納付金

(1) 入 学 料		282,000 円
(2) 授 業 料	前期分	267,900 円
	年 額	535,800 円
(3) その他の経費		54,170 円

(注1) 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(注2) 上記については現行の金額であり、改定されれば改定金額が適用されます。

(注3) 入学料、授業料ともに、経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業が優秀と認められる者又は風水害等の特別な事情がある者は、選考の上、全額又は半額の免除が認められる制度があります。

(注4) その他の経費には後援会費、総合科学部振興会費、渭水会費、学生教育研究災害傷害保険料が含まれます。

(注5) 入学手続に必要な書類等は、入学手続期間前に郵送で通知します。(2月中旬予定)

Ⅸ. 障がいのある入学志願者との事前相談について

受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、あらかじめ相談が必要ですので、下記の期日までに本学総合科学部事務課学務係へ申し出てください。

- (1) 相談の期限 I期 令和6年6月19日(水)まで
II期 令和6年10月24日(木)まで

- (2) 相談の方法

次の①～⑧を記載した申出書(様式は任意)を提出してください。必要に応じて、志願者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者との面談を行います。

- ①住所、氏名、連絡先
- ②出身学校
- ③志望専攻・受験科目
- ④障がいの種類・程度
- ⑤受験上特別な配慮を希望する事項
- ⑥修学上特別な配慮を希望する事項
- ⑦出身学校でとられていた特別措置の内容
- ⑧日常生活の状況等

なお、参考のために健康診断書の提出を依頼する場合があります。

X. 入学許可の取り消し

- (1) 合格者が、入学手続き完了後に大学等を卒業できなかった場合には、入学許可を取り消します。
- (2) 出願書類及び入学手続き等に関する書類等について、虚偽のものを提出したこと、又はその他の不正な事実が判明したときは、入学後であっても、入学許可を取り消すことがあります。

XI. 欠員補充の方法

入学定員に欠員が生じた場合は、次の方法により欠員補充を実施することがあります。

(1) 追加合格

追加合格を実施する場合は、令和7年3月6日(木)以降に入学願書の「連絡先」に直接通知します。(令和7年3月6日(木)は、9:00～11:00まで入学願書の「連絡先」に必ず連絡が付くように待機してください。)

追加合格の実施の有無については、令和7年3月6日(木)から、本学部ホームページ <https://www.ias.tokushima-u.ac.jp/> で情報提供を行います。

(2) 欠員補充第2次募集

欠員補充第2次募集実施を決定した場合には、令和7年3月6日(木)以降に、本学部ホームページ <https://www.ias.tokushima-u.ac.jp/> で情報提供を行います。

XII. 個人情報の取り扱い

出願書類等に記載された氏名、生年月日、その他の個人情報については次の目的をもって、本学が管理し、他の目的での利用及び本学の関係職員以外への提供は行いません。

①入学者選抜、合格通知及び入学手続等の入試業務

②合格者の入学後の教務関係(学籍管理、修学指導等)、学生支援関係(健康管理、奨学金援助、就職支援等)、授業料等に関する業務

また、入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計、分析及び入学者選抜方法の調査、研究(入試の改善や志願動向の調査、分析等)のために利用します。

XIII. 社会人学生の学修と研究及び教育方法の特例について

(1) 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育(夜間開講等)について

通常、官公庁・企業等において勤務している社会人が博士前期課程で学ぶ場合、2年間完全に勤務を離れ、学業に専念することになります。この修学条件を満たすことが難しい社会人学生に対しては、大学院設置基準第14条に「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」ことが規定されているため、この制度を利用して教育方法の特例を実施します。

(2) 長期履修学生制度について

職業を有しているなどの事情により、通常に比べて年間に修得できる単位数が限られる学生を対象に、標準修業年限を超えて教育課程を履修することを認める制度です。

大学による審査を経て長期履修を認められた学生は、履修計画に基づいて教育課程を履修し修了することによって、在学期間中の授業料の負担を軽減することができます。

例) 3年間の履修計画により長期履修を申請し、承認された場合、標準修業年限2年間と同額の授業料を、計画した3年の期間をかけて納入することになります。

XIV. 留学生の方へ

外国に住んでいて徳島大学への留学を希望している方への案内として、徳島大学ホームページに、「インターナショナルオフィス・ホームページ」(International Office)と「徳島大学留学生ポータル」(International Student Portal)があります。

これらのページは、学部・大学院の概要、教員とその研究内容を紹介し、あわせて、入学までの手続き、各種奨学金、留学生宿舎、就職・進路などを説明しています。

徳島大学を知るための参考としてください。

- ・徳島大学インターナショナル・オフィスホームページ (入学までのステップ)

<https://www.isc.tokushima-u.ac.jp/steps-for-enrollment/>

- ・徳島大学留学生ポータル

<https://www.tokushima-u.ac.jp/isc/admission/>

XV. 安全保障輸出管理について

徳島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「徳島大学安全保障輸出管理規則」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から学生の受入れに関して、厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合があります。願書の提出の前に指導教員予定者と相談をするなど、出願にあたっては注意してください。

詳細については以下の研究支援・産官学連携センターのホームページを参照してください。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/active/ip/yusyutsukanri/yusyutsu.html>

XVI. その他

- (1) 入学願書受付後は、提出した書類の変更及び検定料の払い戻しはしません。
- (2) 入学願書を郵便で請求するときは、250円分の切手を貼った自己宛(住所・氏名・郵便番号明記)の返信用封筒(角2封筒33.2cm×24.0cm)を同封の上、本学総合科学部事務課学務係へ申し込んでください。「大学院創成科学研究科(地域創成専攻・臨床心理学専攻)〇〇入試募集要項請求」と朱書きしてください。(〇〇は推薦入学特別入試、一般入試のどちらかの入試区分を記載すること)

- (3) 出願手続きその他に関して疑問の点がある場合は、返信用封筒（住所・氏名・郵便番号を明記し、郵便切手を貼ったもの）を同封の上、下記へ文書で照会してください。

なお、受験票受領後提出する書類には、すべて氏名の上に受験番号を明記してください。

照会先

〒 770 - 8502 徳島市南常三島町 1 丁目 1 番地
徳島大学総合科学部事務課学務係

- (4) 総合科学部ホームページ（下記 URL）もご参照ください。

<https://www.ias.tokushima-u.ac.jp/>

出願資格(9)により出願する者の資格審査について

大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、志願する専攻において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者

審査は書類審査のため学歴（高等教育機関）、資格等について証明するものを必ず添付してください。（本学で受けた教育についても証明が必要です。）

1. 大学に3年以上在学し、志願する専攻において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者

提出書類

- ・ 出願資格審査申請書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ・ 出願資格審査調書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ・ 志望・研究計画等調書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ・ 在学証明書
- ・ 在籍大学の学業成績証明書（最新の学業成績が記載された証明書で厳封したもの）
- ・ 在籍大学の大学学部・学科の履修要覧（要項等）
- ・ 在籍大学の受験承諾書
- ・ 返信用封筒（長3封筒 23.5cm×12.0cm）
I期入試志願者は354円分、II期入試志願者は370円分を貼り、
郵便番号・住所・氏名を明記すること

2. 外国において学校教育における15年の課程を修了し、志願する専攻において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者

提出書類

- ・ 出願資格審査申請書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ・ 出願資格審査調書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ・ 志望・研究計画等調書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ・ 最終出身大学の修了証明書
- ・ 最終出身大学の学業成績証明書
- ・ 推薦書（最終出身大学の学科主任、指導教員等が記載し、厳封したもの）
- ・ 返信用封筒（長3封筒 23.5cm×12.0cm）
I期入試志願者は354円分、II期入試志願者は370円分（*）を貼り、
郵便番号・住所・氏名を明記すること

* 返信先が日本国外の場合、日本から自国までのEMS送料分の切手または国際返信切手券（International Reply Coupon）を同封すること

3. 提出期間

I期 令和6年6月18日(火)～令和6年6月19日(水) 17時まで(必着)

II期 令和6年10月23日(水)～令和6年10月24日(木) 17時まで(必着)

(郵送の際は書留郵便とし、封筒表面に「出願資格審査申請書類在中」と朱書してください。)

4. 提出先 〒770-8502

徳島市南常三島町1-1 徳島大学総合科学部事務課学務係

5. 出願資格審査結果の通知

I期 令和6年7月12日(金)

II期 令和6年11月8日(金)

※提出書類に関する注意

1. 日本語以外で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。
2. 中国の高等教育機関を卒業したものは、学歴証明をオンラインで確認しますので、中国高等教育学生情報網 (<http://www.chsi.com.cn>) で照会番号を取得し、出願資格審査調書に記載してください。

出願資格(10)により出願する者の資格審査について

志願する専攻において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに22歳に達する者

審査は書類審査のため学歴(高等教育機関)、資格等について証明するものを必ず添付してください。(本学で受けた教育についても証明が必要です。)

1. 提出書類

- ・ 出願資格審査申請書(所定の用紙に必要事項を記入してください。)
- ・ 出願資格審査調書(所定の用紙に必要事項を記入してください。)
- ・ 志望・研究計画等調書(所定の用紙に必要事項を記入してください。)
- ・ 高等教育を受けたことを証明するもの(卒業証明書、在学証明書等)
- ・ 高等教育の全期間の学業成績証明書
- ・ 論文、著書、報告書、学会発表資料(本人が当該学会で発表したことが確認できるプログラム等を添付すること)、研究レポート等(コピー可)、指導教員等の推薦書があれば必ず添付してください。また、関連する専門資格・技能検定の証明書等があれば必ず添付してください。
- ・ 返信用封筒(長3封筒 23.5cm×12.0cm)
I期入試志願者は354円分、II期入試志願者は370円分(*)を貼り、
郵便番号・住所・氏名を明記すること
* 返信先が日本国外の場合、日本から自国までのEMS送料分の切手または国際返信切手券(International Reply Coupon)を同封すること

2. 提出期間

- I期 令和6年6月18日(火)～令和6年6月19日(水)17時まで(必着)
II期 令和6年10月23日(水)～令和6年10月24日(木)17時まで(必着)
(郵送の際は書留郵便とし、封筒表面に「出願資格審査申請書類在中」と朱書してください。)

3. 提出先 〒770-8502

徳島市南常三島町1-1 徳島大学総合科学部事務課学務係

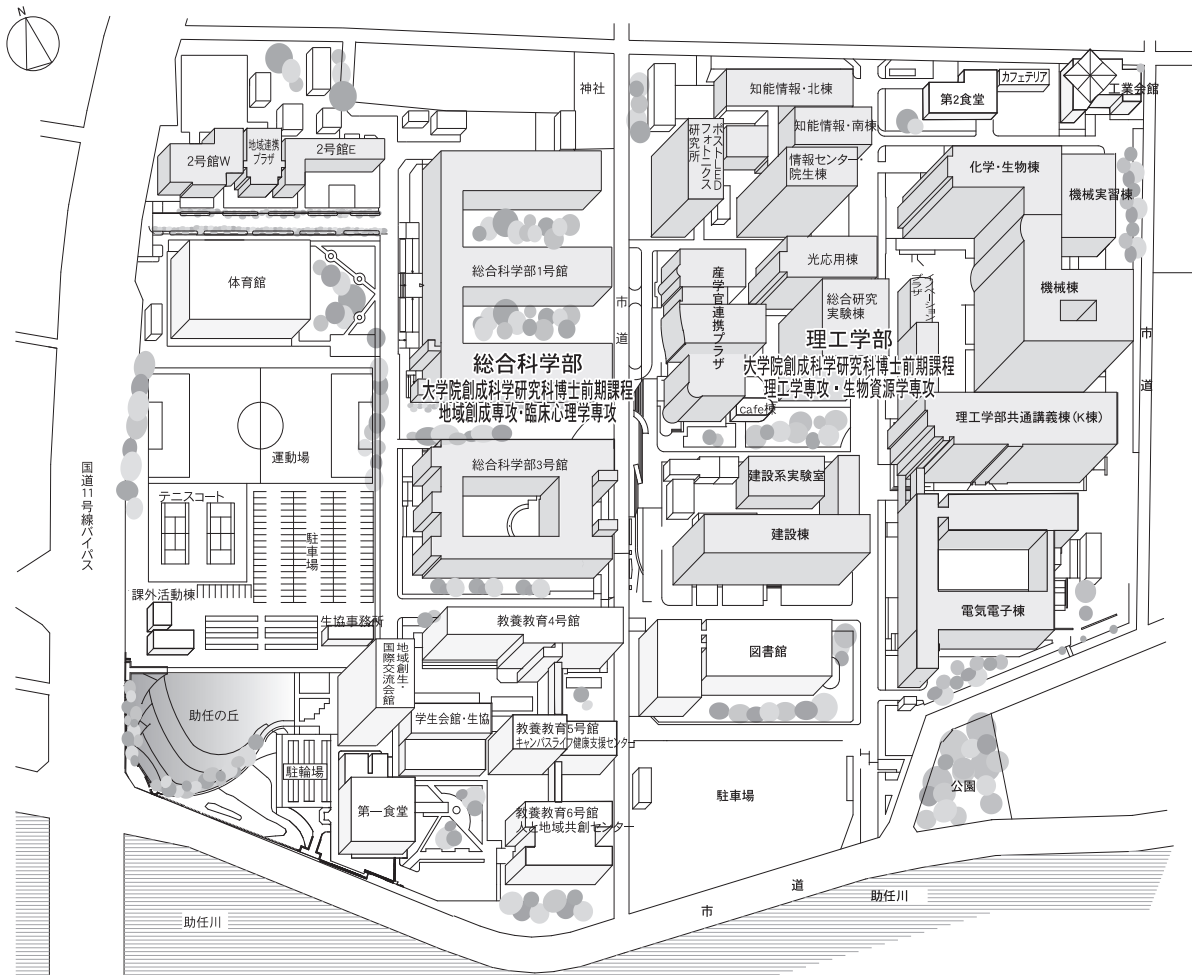
4. 出願資格審査結果の通知

- I期 令和6年7月12日(金)
II期 令和6年11月8日(金)

※提出書類に関する注意

1. 日本語以外で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。
2. 中国の高等教育機関を卒業したものは、学歴証明をオンラインで確認しますので、中国高等教育学生情報網(<http://www.chsi.com.cn>)で照会番号を取得し、出願資格審査調書に記載してください。

【常三島キャンパス】



令和7年度 徳島大学大学院創成科学研究科博士前期課程
(地域創成専攻・臨床心理学専攻)入学願書

ふりがな					※ 受験番号 (大学記入欄)			
氏名	(姓)			(名)			男・女	○をつける 一般入試 外国人留学生特別入試 社会人特別入試
	(旧姓)							
生年月日	年	月	日	生				
国籍 (外国人留学生として志願する場合)		在留資格		在留期間	年	月	日	○をつける 国費費 私費
志望専攻名					専攻			
出願資格	卒業大学名	(国立・公立・私)		大学				
				部		学科課程		
	その他の資格			昭和 平成 令和 年 月 卒業見込み・卒業・修了				
職歴	年 月～	年 月						
	年 月～	年 月						
	年 月～	年 月						
受験科目	地域創成専攻 (I期入試志願者のみ)							
	臨床心理学専攻				記載不要			
入学後志望する指導教員名								
連絡先	現住所	〒		TEL				
	(携帯等電話)							
	メールアドレス							

募集要項を取り寄せて作成してください

(切りはなして提出すること)

- (注) ①入学後志望する指導教員名は、10ページ以後を参照の上、記入すること。
令和8年(2026年)3月末日までの退職予定教員は指導教員に選べません。
②職歴欄は、職歴がある場合には必ず記入すること。
③※欄は記入しないこと。

令和7年度 徳島大学大学院創成科学研究科博士前期課程 (地域創成専攻・臨床心理学専攻)受験票

氏名			※
志望専攻名			攻
受験科目	地域創成専攻 (I期入試志願者のみ)		
	臨床心理学専攻		不要
入学後志望する指導教員名			

※欄は記入しないこと。
入学後志望する指導教員名は、10ページ以後を参照し、10ページ以内の範囲から1名を選択すること。
令和8年(2026年)3月末日までの退職予定教員は指
定できません。
この受験票は、受験の際つねに携帯し、試験中は指
定位置に置くこと。
(切りは...で提出すること)

写真貼付欄

最近撮影した本人
確認が可能な写真
(上半身, 脱帽, 正面,
縦5cm×横4cm)の
裏に, 氏名を記入し,
貼付すること。

写 真 票

氏名			※
志望専攻名			攻
受験科目	地域創成専攻 (I期入試志願者のみ)		
	臨床心理学専攻		不要
入学後志望する指導教員名			

※欄は記入しないこと。
入学後志望する指導教員名は、10ページ以後を参照し、10ページ以内の範囲から1名を選択すること。
令和8年(2026年)3月末日までの退職予定教員は指
定できません。
(切りは...で提出すること)

創成科学研究科 博士前期課程

写真貼付欄

最近撮影した本人
確認が可能な写真
(上半身, 脱帽, 正面,
縦5cm×横4cm)の
裏に, 氏名を記入し,
貼付すること。

机 上 票

受験番号	※
------	---

※欄は記入しないこと。

募集要項を取り寄せて作成してください

(切りはなして提出すること)

志望・研究計画等調書

徳島大学大学院創成科学研究科博士前期課程（地域創成専攻・臨床心理学専攻）

氏名		受験番号	※
志望専攻名			専攻
受験科目	地域創成専攻 (I期入試志願者のみ)		
	臨床心理学専攻	記載不要	
入学後志望する 指導教員名			
本学大学院への志望動機、これまでの学修・研究の経過、今後の研究計画を詳細に記載すること。			
【志望動機】			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

(切りはなして提出すること)

(注) ①※欄は記入しないこと。
②本様式内にまとめるものとする。
③令和8年(2026年)3月末日までの退職予定教員は指導教員に選べません。

氏 名 _____

【これまでの学修・研究の経過及び今後の研究計画】

Form area with horizontal dashed lines for writing.

(切りはなして提出すること)

履 歴 書 (学 歴)

募集要項を取り寄せて作成してください

氏 名	英 語				
	母 語				
学 歴	学校名及び所在地		修業必要 年 数	入学及び卒業年月	学位・資格
	初等教育 (小学校)	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月	/
	中等教育 (中学校 及び高等 学校)	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月	/
	高等教育 (大学)	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月	/

(注) ①出願資格(3), (4), (5)に該当する者のみ記入してください。
 ②学校所在地は、市町村名まで記入してください。

中国高等教育学生情報網 照会番号	①		②
------------------	---	--	---

(切りはなして提出すること)

令和 年 月 日

出願資格募集要項を 作成して ください

令和 年度徳島大学大学院創成科学研究科 期課程（地域創成専攻・臨床心理学専攻）入
学者選抜試験に出願するため、添付書類を添え 審査の申請を行います。

ふりがな
氏 名

印

生年月日

年

日生

（

歳）

住所 〒

電話番号

出願を希望する選抜区分（該当す を○で囲んでください。）

一般入試

・ 外

学生特別入試

認定を希望する出願資格（該当す を○で囲んでください。）

出願資格(9)

・ 各(10)

（切りはなして提出すること）

出願資格審査調書

徳島大学大学院創成科学研究科 前期課程（地域創成専攻・臨床心理学専攻）

募集要項を取り寄せて作成してください

氏名		希望専攻名			
学歴	学校名及び所在地		修業必要年数	入学及び卒業等年月	学位・資格・専攻科目
	初等教育 (小学校)	学校名 所在地	年	入学 卒業 年 月 年 月	
	中等教育 (中学校)	学校名 所在地	年	入学 卒業 年 月 年 月	
	中等教育 (高等学校)	学校名 所在地	年	入学 卒業 年 月 年 月	
	高等教育 (大学等)	学校名 所在地	年	入学 卒業 年 月 年 月	
	大学院	学校名 所在地	年	入学 修了 年 月 年 月	
	その他	修学身分 学校名 所在地	年	入学 卒業 年 月 年 月	
職歴	在職期間		勤務名称	勤務内容	
	年 月～ 年 月				
	年 月～ 年 月				
	年 月～ 年 月				
その他特記すべき事項 （著書，論文（卒業論文を含む。）があれば著者名，出版社名，出版年月日，出版場所）					

（切りはなして提出すること）

(注)学校所在地は，市町村名まで記入してください。
 本様式の記入欄が不足する場合は，別紙を添付してください。

中国高等教育学生情報網 照会番号	①	②
------------------	---	---

検定料の払い込みについて

- この払込用紙は、本学学納金の払込用紙としてゆうちょ銀行の承認を受けたものです。
 検定料を払い込む場合は、必ずこの払込用紙を使用して最寄りのゆうちょ銀行又は、郵便局の窓口から払い込んでください。
 (ATMは、使用しないでください。)
- 検定料を払い込む際には、払込用紙のすべての志願者欄に氏名等を記入の上、切り取り線から払込用紙を切り取り、ゆうちょ銀行又は、郵便局の窓口へ検定料に手数料を添えて提出してください。(払込用紙は3連式ですので、切り離さないでください。)
- 検定料を払い込んだ際には、日附印が押印された「検定料払込証明書(出願用)」を必ず受領してください。
- 「検定料払込証明書(出願用)」は、「検定料払込証明書」の指定の欄に貼付して願書に添付して提出してください。
- この払込用紙の「振替払込請求書兼受領証」をもって国立大学法人徳島大学の領収証書に代えさせていただきますので、別に領収証書を送付することはありません。

切り取り線

払込取扱票

00	口座記号番号	千	百	千	万	千	百	十	円
016300	92535						3	0	000
加入者名	国立大学法人 徳島大学	料	金	特殊	取致				
通信欄	令和7年度創成科学研究科 博士前期課程(地域創成専攻・臨床心理学専攻) 検定料								

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	千	百	千	万	千	百	十	番		
016300								0		
加入者名	国立大学法人 徳島大学	金額	千	百	千	万	千	百	十	円
志願者	おなまえ	金額								0000

検定料払込証明書(出願用)

口座記号番号	千	百	千	万	千	百	十	円		
016300								0		
加入者名	国立大学法人 徳島大学	払込金額	千	百	千	万	千	百	十	円
志願者住所氏名		金額								30000

募集要項を取り寄せて作成してください

志願者	真面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)承認番号徳第4381号
印	これより下部には何も記入しないでください。

金	円
備考	

--

募集要項を取り寄せて作成してください

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはつきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙による、払込料金は、
お振込み先が各金融機関です。

ころ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
5万円以上
貼付

印

この場所には、何も記載しないでください。

創成科学研究科 博士前期課程
(地域創成専攻・臨床心理学専攻)
入 学 出 願 用

受験番号 (大学記入欄)

検 定 料 払 込 証 明 書

「検定料払込証明(願用)」貼付場所

募 集 要 項 を 取 り 寄 せ て 作 成 し て く だ さ い

(切りはなして提出すること)

募集要項を取り寄せて作成してください

あて名票

合格通知を受け取る住所、氏名、郵便番号、電話番号を記入すること。
団地・アパート等に居住している者は、棟番号、戸番を入れ、間借り
をしている者は、「○○様方」と詳しく記入すること。
なお、出願後移動した場合は、速やかに届け出ること。

住所

氏名

殿

電話番号

受験番号(大学記入欄)

住所

氏名

殿

電話番号

受験番号(大学記入欄)

住所

氏名

殿

電話番号

受験番号(大学記入欄)

(切りはなして提出すること)

募集要項を取り寄せて作成してください

達

□□□□□□

354円切手を貼付すること。
この封筒に住所氏名及び郵便番号を明記すること。

受験票在中

徳島大学総合科学部
事務課学務係

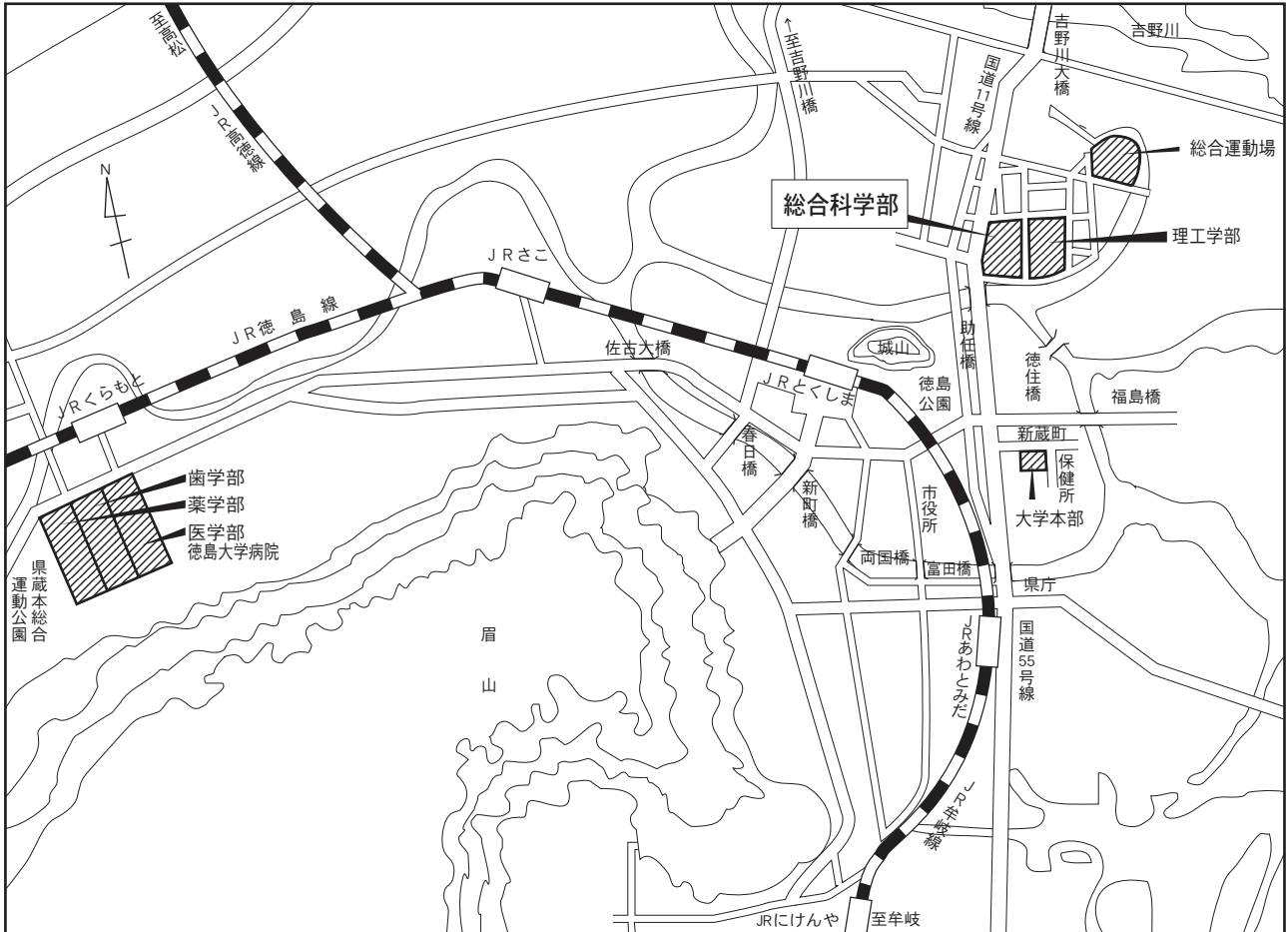
徳島市南常盤町1丁目1番地

電話(088) 7108番 (ダイヤルイン)

FAX(088) 9314番 (ダイヤルイン)

郵便番号 770-8502

●位置図●



創成科学研究科博士前期課程（地域創成専攻・臨床心理学専攻）所在地

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL (088) 656 - 7108

FAX (088) 656 - 9314